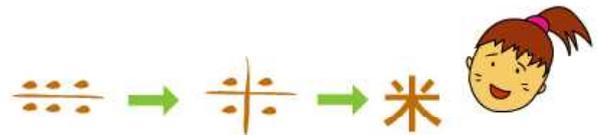


10月24日 朝礼にて 校長講話

質問します。今朝、何を食べてきましたか。パンを食べてきた人。ご飯を食べてきた人。そのほかのもの、シリアルとかそういったものを食べてきた人。今日は、ご飯のもととなるお米についてお話しをしたいと思います。

お米という字は稲穂と茎の形から米という字になっています。お米になるためには、とてもたくさんの世話をしなければならず、お米という字を分解すると八十八と読めることから、お米を作るのにだいたい88世話をしなければなら

ないと言われています。5年生の人はどんな世話をするか社会科で習ったよね。どんな世話をするんだったかな。あれ？じゃあ、去年習った6年生はどうですか。そう、種をまいたり、苗を植えたり、草取りをしたり、本当にたくさんの世話をするんですね。5・6年生は5月24日に田植えをしましたよね。そのとき、どのくらいの丈に育った苗を植えたんでしたっけ。20cm位の苗だよね。それが、5ヶ月でこれだけ成長しました。この稲の様子を見て、昔の人はもう一つことわざを作りました。わかる人はいますか。そう、「実るほど頭を



垂れる稲穂かな」です。小さな米粒が実って、たくさん実るほど頭をたれてくる様子がわかるよね。こんな稲の様子が人間も同じで、たくさん勉強して、友だちと色々な活動をして、お互いに認め合っていくと、どんどん謙虚になるということですね。

学問の秋です。みんなもたくさん勉強して、いろんな活動をして、立派に成長して欲しいと思います。

5・6年生の人たちは、今日、稲刈りをするんですね。手を切らないように気をつけて下さい。